



ユーカリが丘地区
 社会福祉協議会
 発行人 坪松康隆
 編集人 清水悦子
 〒285-0843
 千葉県佐倉市中志津 2-32-4
 西部地域福祉センター内

結婚 50 周年を祝う会をご存知ですか

『結婚50周年を祝う会』が11月9日(火) 11月10日(水)に、ウイシユトンホテル・ユーカリで行われました。2日間で142組のカップルが参加されました。

これは、佐倉市が広報で告知し、回答のあった方にお祝いをしているわけですが、ご存知ない方もいらっしゃるようなので、今回取り上げてみました。

『結婚50周年を祝う会』は、現在佐倉市在住の方で、結婚50周年(金婚式)を迎えられる方に楽しんでいただける記念行事として開催し、記念写真などの記念品を贈呈するというものです。



今年の対象は、昭和29年9月1日から30年8月31日の間に婚姻届をし、現在市内に在住しているご夫婦が対象でした。申し込みは戸籍謄本を持参の上、佐倉市社会福祉協議会事務局、西部・南部地域福祉センター、市民課、出張所などで受け付けています。7月ごろの広報さくらで案内され、8月中旬ごろ締め切りとなります。

今年はず「佐倉太鼓衆 櫻太鼓」の皆さんのお祝いの演奏で幕を開け、渡貫佐倉市長や市社協会長・ご来賓のご挨拶などつづき、参加者代表への記念写真の贈呈式、幼稚園児からのお祝いの歌や肩たたきなどなごやかに進行了しました。

また、地域の代表の方からのお祝いの歌や黒田武士? (節) などの縁起の良い踊りなどで盛り上がりました。佐倉市内の各地域ごとにテーブルに集



まっつて、昔話や趣味の話などでにぎやかな雰囲気でご々談笑されており、市長や来賓の方々、各地区社協や支会の会長の皆さんがその輪に加わり、話が尽きない様子でした。

50年も連れ添ったご夫婦は皆さん本当に穏やかで仲睦まじい感じであらやましい限りでした。金婚式を迎えらるる皆さんは、ぜひ、この会に参加してお祝いをされてみてはいかがでしょう。また、ご家族のみなさんもぜひお勧めしてみてください。

『春休みだよ お話フェスティバル』

- 日時：平成17年3月26日(土) 10時~12時
- 会場：志津コミュニティセンター 1階大ホール
- 対象：地域の子供達、及び保護者
- 出演団体：青菅小学校図書委員会、小竹小学校図書ボランティア、井野小学校図書ボランティア、佐倉おはなしの会
- 参加費：無料
- 主催：ユーカリが丘地区社会福祉協議会
- 内容：人形劇、紙芝居、ペープサートなど楽しく面白いお話が盛りだくさん。どうぞお越しください



ふれあい福祉まつり開催

今年も11月23日、第13回となったふれあい福祉まつりが、志津コミュニティセンターで志津・西志津・ユーカーが丘の三地区社協共催で開催されました。今回は新潟県中越地震の募金活動も同時に行われ、活気のある福祉まつりとなりました。お天気も上々、ボランティアで参加の勇翔太鼓の皆さんや西志津お囃子友の会の皆さんによるオープニングが始まり、その音色に誘われるかのように早くから大勢のお客様



が来場されました。何と言ってもバザー会場の熱気。各地域の皆様からのご協力のおかげで、この福祉まつりのバザーはよい品物がたくさん並ぶと大好評です。模擬店も同様、普段食べられないつきたてのあんこ餅やきな粉餅、そして焼きそば・焼き鳥・いか焼き・豚汁とおいしそうな匂いでお客様の食欲をそそっていました。今年はゆっくり味わっていただくこと、日よけのテントを用意しましたが、いかがでしたでしょうか？

この福祉まつりでの収益は、それぞれの地区社協での福祉活動資金になります。ユーカーが丘地区社協においても、現在活動しておりますいききサロンや100円喫茶などがありますが、さらに皆様のニーズに対応できるような活動も考えて参りたいと思っております。そして、福祉まつりのもうひとつの目的である地域の皆様との交流も大切にしていきたいと思えます。これからもご支援、ご協力よろしくお願いいたします。重ねて募金へのご協力ありがとうございました。

わんぱくまつり開催

回を重ねてすっかり地域の名物イベントとなった、北志津児童センター主催による「第15回ワンパクまつり」が去る11月6日に志津コミュニティセンターにおいて関係機関・諸団体の協力を得て開催されました。

オープニングは子供たちのダンス、つづいてワンパククラブ代表者による開会宣言、テープカットによりにぎやかに始まりました。



当日は天候にも恵まれ、大勢の来場者で賑わうなか、当ユーカーが丘地区社協は餅つきコーナーを担当しました。杵を持つのは初めての子も含め、たくさんの子供たちが参加して12臼の餅をつきあげ、大変好評でした。つきたての熱い餅を、黄粉餅やあんこ餅、くさ餅にして販売

した福祉委員の皆様、お疲れ様でした。

子どもボランティア開催

平成16年8月28日

子供たちがクライネスサービスの皆さんと清掃活動を体験、おやじの食事学の皆さんとは和気藹々にカレーで食事会

無邪気で自由闊達なのが本来子供の姿でしたが、遠い昔の話になってしまいました。虐待、いじめ、殺傷、誘拐等、痛々しい事件の起る今日、私たちは心が痛みます。

明るい社会にと考えましたのが、過日行いました「体験子供ボランティア」でした。多くの方々（親子）で参加いただきました。次回参加がしたいとの声も多く聞かせて頂きました。いろいろな方々のご協力をいただきましたことをここに御礼申し上げます。

ボランティア協働事業部会 渡辺聡子



第一回市民福祉セミナー 開催される

テーマ…ユーカリが丘地区の地域福祉を考える
講演…

① 超福祉と逆転の発想でまちづくり

講師…県健康福祉政策課

② ユーカリが丘地区のまちづくりの構想

講師…山万株式会社

日時…8月29日(日) 10時～12時

場所…志津コミュニティセンター

出席者…約120名

初めに、坪松会長より「内閣府の調査では60才以上の人で地域活動に参加したい人は60%以上」、「地区で行った小学生によるボランティア清掃活動には100名以上が参加し、今後もこのような活動には参加したいと思っている」などの話を交えながら、地域住民の関心の高さに応えるようにお二人の講師お話を聞いてまちづくりを進めていきたいとの挨拶がありました。

木村主幹のお話…

本年3月に策定された「千葉県地域福祉支援計画」についてその一部を果たすべき役割、理念、目指す地域福祉像、理念を実現するための施策体系、ちば地域福祉新構想の順で説明がありました。

なお、「超福祉とは別に障害者、高齢者や子どもたちを支援する施設を個別につくるだけでなく、

1) 支援計画立案段階から支援を受ける人、行政、地域住民が一体となって参画し

2) 保健医療、町づくり、教育、就業などを総合的に考え

3) 福祉型から経済自立型

となることを意味することでした。

また「逆転の発想」とは

1) 助け合い・支え合いのちからが地域社会から行政に移ってきたという流れを地域に復活させるという「逆転」

2) 高齢者の増加を、地域社会の負担ではなく活性化につなげる「逆転」

3) 地域福祉の充実こそが地域再生・活性化

化の切り札であるという地域福祉と経済の関係の「逆転」を指すところでした。果たすべき役割

人の「福祉力」、地域の「福祉力」を掘り起こし、人の力と地域のつながりが信じられる地域社会の再構築
「健康福祉千葉方式」の県内市町村への普及・全国への発信

千葉・健康福祉5原則の実現

① 性別、年齢、障害の有無に関わらない
② 全ての人が人間として個人として尊重される
③ 一人ひとりの状況とニーズに応える
④ 家庭・地域での生活を基本とする
⑤ 健康で生きがいをもって自立して生きていく

理念を実現するための施策体系
「ちば・3つの暮らしネットワーク」構想
① 支え合い・助け合いネットワーク
② 地域事業ネットワーク
③ 行政ネットワーク

千葉地域福祉新構想
小域福祉圏(小学校区または中学校区)、基本福祉圏(市町村)、広域福祉圏の3層福祉圏と全県域毎に各種施設を展開する。

なお同計画は千葉県のホームページ <http://www.pref.chiba.jp/sc/chikukude> で閲覧できるとのことです。

林常務取締役のお話
ユーカリが丘地区の開発理念と構想について以下の通りのお話がありました。

開発着手時の基本理念
当社は昭和46年からユーカリ地区の開発に着手し、その開発理念は「自然と都市機能が調和した21世紀の新・環境都市づくり」を指すというものであった。

この理念を具体化するため何よりも大切なことは、住民と行政とティベロップが互いに協調・協力し合う三位一体の開発であることは言うまでもないが、最大多数の最大幸福を実現するため住民の意見のマジョリティーを掴む普段の努力が欠かせません。

21世紀を間近に控えての新構想
平成9年(1997年) 21世紀を間近に控えて、21世紀新環境都市―千年優都(シテ

イミレニアム)として次の5つの構想を策定しその実現を推し進めてきた。
1) 高度情報通信化の推進
市のテレビピア構想とのつながりを想定したうえで、ユーカリ地区のケーブルテレビ網を整備してきた。今後はインターネットの機能を活かして、双方向通信によるローカルコミュニケーションツールとして、コンテンツの充実を計って行きたい。

2) 少子高齢化社会への対応
現在総人口に対する高齢者率の日本平均は17%、佐倉市は16%となっている。ユーカリ地区はまだ10%と低いですが、今後数年間で急速に高齢化が進むことは間違いない。従って、福祉の街づくり構想を強力に推し進めていく。

3) 地方分権化の推進
行政だけに頼らない街づくりのために、行政の理解を得ながら、民間活力を導入する必要がある。言い換えれば「生産」「所得」「消費」のサイクルを街の中に根づかせ、経済の活性化による地方財源をどう確保していくかという点である。ユーカリ地区5000世帯は千葉県の中でも所得優位性が高く、この活力を維持していくためにもユーカリ地区における生産活動の拠点づくりが必要となってくる。女性と65才以上の高齢者の働く場所を作るために駅前を再開発して、インキュベーションセンターを計画している。

4) 環境共生化の推進
5) 国際化の推進
安全な街づくりのため、駅前と宮ノ台に防犯・防災パトロールセンターを作った。犯罪発生率だけは国際化して欲しくないが、現実の問題として街ぐるみで防犯に取り組まなければならない時代となつてしまった。成田空港に近いこともあり、海外在住経験者もともと多いエリアでもあるが、今以上に「コスモポリタン」の集う街にしていきたい。

今後の事業展開
各地を眺めてみると、20世紀にニュータウンと称される街が大量に登場したが、「高度情報化社会や高齢化社会へ対応できない街づくり」の失敗例が沢山あり、当社としてもこれまでの理念や構想を時代に合わせたものへと、常に変えていく必要を感じている。

当社は、分譲撤退型ではなく住民と共に歩み続ける会社でありたいと常に願っており、これからも住民の皆さんとつながった街づくりをすすめていきたい。

今後の大きな仕事は「安心・安全と福祉の街づくり」であると考えており、以下の事業が進行中か計画中である。
1) ドクターやナースの常駐する診療所
マンシヨンの建設
ナースが24時間、クリニックに常駐し、医療相談に対応する。ドクターは、訪問医療(往診)を行うことにより、在宅での医療が可能となり、健康面での安心が向上することとなる。(南口駅前マンシヨンのプレシオ'05年10月竣工)

2) 96床ユーカリ優都苑(介護老人保健施設)建設
企業の採算を超える困難性があるが、開かれた福祉の都市の拠点にしたいという一念から推進している。(05年6月開所予定)

3) リバースモゲージ制度(住宅を担保にした月次融資制度)・検討の段階
4) 地域通貨の福祉版であるボランティア貯金制度の導入

今後もニーズに応えるテーマのセミナーを開催したいと考えます。(研修部会)



敬老の集い第一ブロック

於：小竹小学校 体育館
平成16年10月2日(土) 出席者116名



第一ブロックの『敬老の集い』は10月2日(土)に秋晴れの中、小竹小学校にて開催され、朝早くから招待者が集まり、大勢元気な姿をみせてくださいました。

去年と同様に子供達との触れ合い、参加型の集いの方向で進め、式典では出席された米寿及び高齢者の方々の元気な姿を紹介しお祝いしました。余興の部において、恒例の「学校タイム」は3年4年の児童の授業参観の場でもあり、大勢の児童の親達が見守る中での交流の場となりました。子供達は各催しコーナーだけではなく、積極的に招待者の中に入り、似顔絵を描くなどして、触れ合いの場が数多くできました。

そして、松原章さんには『神歌』を朗々と謡っていただき、次に小竹小金管部の皆さんの演奏を楽しみました。宴が盛り上がりすぎてきたなかで、内野すみ江さんの指導と進行で音楽と抽選会で楽しいひとときを招待者の方だけでなく、来賓の皆様もボランティアの皆さんをグループ別に鈴やタンバリンを手に歌ったり動いたり、太鼓をたたいたりと大いに楽しみました。たのしいひとときを過ごしていただいた招待者の皆様をお見送りして、今年度の『敬老の集い』は幕となりました。

小竹小学校の積極的な協力とPTAの皆様と多くのボランティアの方々との協力で招待者の皆さんに楽しんでいただき無事終了する事ができました。ありがとうございました。

第一ブロック長 則武広行

敬老の集い第二ブロック

於：志津コミュニティセンター
平成16年10月2日（土） 出席者89名



澄み切った秋晴れの下、第2ブロックの『敬老の集い』は89名のご招待者をお迎えして幕が開かれました。1年ぶりにお見かけするお顔、また「いきいきサロン、100円喫茶」でおなじみのお顔。今年初めてご参加いただく方のお顔。どの方も笑顔でおいでいただくことができ、スタッフ一同、温かい心で皆様をお迎えすることができました。

第2ブロックの福祉委員はじめ、井野小PTA・井野中PTAのお母様方、クライネスサービスの方々の大きなご協力をいただき無事に終了することができました。また来年皆様と元氣にお会いできることを願いつつ、心より感謝申し上げます。

第2ブロック長 久保埜 容子

敬老の集い第三ブロック

於：青菅小学校 体育館
平成16年10月2日(土) 出席者116名



敬老の集いは、今年も晴天に恵まれました。

今年からシステムが変わり、代理出席が認められ無くなったので、出席率が心配でしたが、予想に反し、出席者が多く福祉委員やボランティアの皆さんはおおわらわでした。又、お酒が出ないので、寂しそうにしている方達が居りましたが、その分事故も無く無事に終了することが出来ました。

各テーブルには、趣向を凝らした手作りのお皿のような容器を置き、その中にお菓子を入れて、皆さんに食べて頂く様にしました。なかなかの出来のお皿に、持ち帰りたいたいという方も出られ、作られた福祉委員の皆さんは、大変喜んで居られました。当地区は、志津ユーカリ苑が有りますが、今年は、式典当日に来られない方達のために大きな花瓶を送ることにしました。

第3ブロック長 鯨井裕嗣

敬老の集い第四ブロック

於：志津小学校 体育館
平成16年10月2日（土） 出席者167名



この第4ブロックは、ユウカリが丘地区社協の中でも最も招待者が多い地区です。

第1部の式典は、リコーダーグループ「アマビレ」によるオーブニング演奏から始まり、米寿（12名）と高齢者（90歳以上、26名）のお名前を発表し、お祝いと敬意を表しました。

第2部の余興は、光の子保育園園児がお遊戯「桃太郎」を、志津小学校児童は、低・中・高学年に分かれて「サンバにつて」「志津っ子ソーラン」「言葉遊び」を披露し、可愛らしい仕草と元気を贈りました。

大人からは艶やかに「序の舞恋歌」を三橋明子さんが舞い、「松風」と「通小町」の仕舞には、出演者の観世流謡曲会のはからいで解説書を付けていただき、好評でした。

そしてビンゴゲームで楽しみ、志津小児童全員による招待者見送りの中、退場となりました。

各所でご協力を戴いた皆さんに改めて感謝申し上げます。

第4ブロック長 村松利雄

ユーカリ地区のボランティア団体「和の会」

ボランティアアグループ『ユーカリ和の会』は、地域の中で助け合って暮らして行けたらとの思いの人達が集まって、昭和61年3月に発足。ユーカリクラブ（老人クラブ）の方80人程をお招きしての手作り昼食会と井野の福祉作業所「みちしばの園」での作業手伝いが活動の始まりでした。

主な活動としては、現在、地域の高齢者への「ふれあい配食サービス」及び知的障害者校正施設「さくら手園」での園生と一緒に洗濯したため、特別養護老人ホーム「白翠園」での入浴後介助と洗濯たため、身体障害者通所授産施設「オリオンハウス」での作業の手伝い、さらに福祉施設だけでなく地域のお祭りや行事への参加・協力活動等を行っています。

特に、「ふれあい配食サービス」は「和の会弁当」として一人暮らしの高齢者、身体の弱い中高年の方々に月1回35食をお届けしています。お弁当の献立は、会員それぞれのお品書きを添えて、毎回楽しんで召し上がっていただけるよう工夫して居ります。3月と



5月のお節句、クリスマス、誕生日には華道の先生を中心とするボランティアアグループ「花工房リーベ」提供のお花のアレンジメントもお届けし、大変喜ばれて居ります。また、年1回ですが、ユーカリが丘地区社会福祉協議会主催の「いきいきサロンのユーカリ及び宮ノ台に20食ずつお届けし、「和の会弁当」を味わっていただけて居ります。

メンバーは25名、主婦だけで活動して来ましたが、最近では調理師経験のある男性も加わって、料理の幅も広がり、新しい味への勉強も楽しみの一つとなつております。何よりの楽しみは、月1回ですが「和の会弁当」を待つていて下さるお年寄りのお元気な姿を拝見し、お話をおうかがいできる事です。福祉施設での「ふれあい」も同じです。

今出来ることを今出来る人が...を基本に、一人では続けることが困難なことも、仲間と補い合つて18年。高齢者や障害者へのささやかなお手伝いを続け、出会いを楽しみながら、私たちの地域社会での行き方を学んで居ります。是非皆様もこの『ユーカリ和の会』と一緒に活動してみませんか。お問い合わせ

ユーカリ和の会 保谷方
043(461)5033



第10回志津社協杯争奪サッカー大会開催

10月30日(土)に第10回志津社協杯争奪サッカー大会が開催されました。結果は以下のとおり

一年生の部
優勝 ユーカリが丘SC

準優勝 志津FC

三位 中志津SC

二年生の部
優勝 志津FCA

準優勝 志津FCB

三位 中志津SC

三年生の部
優勝 ユーカリが丘SCA 準優勝 志津FCB 三位 中志津SCA 敢闘賞 ユーカリが丘SCB

四年生の部
優勝 中志津SCA 準優勝 中志津SCB 三位 志津FCB 敢闘賞 志津FCA



お詫びと訂正

第21号で福祉委員名簿に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

(誤) 青菅 設楽八重子
(正) 青菅 設楽久美子

編集後記

新潟県中越地震からすでに一ヶ月、新聞の記事も小さくなってきた今朝、また北海道の地震のニュース。新潟では村が無くなったり、住む家が倒壊したり、地震の多い日本では他人事ではない。それなりの準備はしておくことに越したことはないが、今度の地震で地域、ご近所の人たちとお付き合いがいかに大切かということを痛切に感じた。避難所での生活、倒壊した家の片付け、どれも助け合いながらの生活や作業です。私達も日頃から挨拶の出来るご近所づきあいを大切にしていきたいですね。

問合せ先

ユーカリが丘地区社会福祉協議会事務局(西部地域福祉センター内)

電話 四六三一四一六七

FAX 四六三一四一六九

*毎週 火・木・金

(午後1時～5時まで)

映画「ウィニングパス」上映のお知らせ

上映日 平成17年3月27日(日)

場所 西志津小学校体育館

上映 10時～12時(開場9時30分)

場所 志津コミュニティセンター大ホール

上映 14時～16時(開場13時30分)

チケット 一人500円

問合せ 461-8403 渡邊まで

